

道徳の時間学習指導案

指導者 T1 住田 浩
T2 石村 誠

- 1 日時 平成17年6月6日(水) 第5校時
- 2 学年 第4学年 9名
- 3 主題名 正直に生きる 【1-(5) 明朗・誠実】
- 4 ねらい 花びんをわってしまったことを正直に言い出せない主人公の気持ちのゆれを考えさせることにより、うそやごまかしをせず正直に行動することの良さを感じ、明るい心で生活しようとする心情を育てる。
- 5 資料名 「われた花びん」「ぼくは言えなかった」(みんなで考える道徳 日本標準)一部改作]

6 主題設定の理由

- 人が見ていようといまいと自分の良心に従って行動することは大切なことである。しかし、人間は、それほど強い存在ではなく、失敗や過ちをした際に自分の利害を考え、ごまかしたり、嘘をついてしまったりすることがある。そのことが、後味の悪さや自分自身の心を暗くしたりすることにつながっていく。良心に従って正直に行動することにより、すっきりした気持ちになり、明るく生活することができる。また、自分のうそやごまかしがまわりの人に与える影響などについて考えることも社会生活を営むうえで大切である。

本教材は、主人公が、自分の不注意で先生が大切にしている花びんを割ってしまい、そのことを正直にみんなに話せず、すっきりしないつらい気持ちになる内容である。内容は違っていても、同じような経験をした児童もいると思われる、主人公の正直に話そうかどうか悩む姿や心の葛藤に共感させながら、ねらいとする道徳的価値を深めるのに適した教材である。

- 本学級の児童は、明るく活発で、いろいろなことに興味を持って、取り組もうとする。また、友だちの行動にも関心を持ち、友だちにアドバイスをしたり、自分の思ったことを話していこうとしたりもする。

本教材の価値項目に関する事前アンケートによると、自分が人に迷惑をかけたが自分がしたとだれもわからないとき、どうするかという問いに対し、「すぐあやまる」という児童が半数であった。正直に行動することの気持ちよさ、大切さを日々の生活の中で感じていると思われる。あとの半数は、「なかなかあやまれない」という回答であった。理由として、怒られるからというもの挙げている児童が多かった。児童の日常の様子からも、自分が失敗や過ちをしたときは、その失敗や過ちを他者のせいにして、関係のないことを引き合いに出してそれを理由にしたりする児童もいて、なかなか自分の過ちを正直に素直に認められないことがある。また、他者の失敗や過ちに対しては、強い批判をする場面もよく見られ、自分の過ちを正直に認めて謝る人の気持ちを考えられない児童も多い。

- 指導にあたって、まず導入では、連想ゲームにより楽しく授業に臨む雰囲気作りを行うとともに、資料へもスムーズにつなげていきたい。そして、主人公の心情にそって考えさせ、正直に行動しないことで苦しむに姿にしっかりと共感させる中で展開していきたい。中心場面では、ワークシートを用いて自分の考えを明確にして話し合いに参加させ、さらに友だちの発言を通して、いろいろな考えに触れたりする中でねらいに迫っていきたい。また、終末の説話では、資料のように謝って許された気持ちよさだけにとどまらせないために、謝って怒られたけど、正直に言って気持ちがすっきりとしたという話を持ってくることにより価値を高めていきたい。

板書では、色チョークで感情曲線を書くことにより正直に行動したときの明るさと黙っているときの暗さを視覚的に対比させていき、価値を深める工夫をしたい。

7 指導過程

| 段階 | 学習活動 | 主な発問と児童の心の動き | T1・T2 の役割 | 指導上の留意点 (○支援☆評価の観点) |
|------------|-------------------------------|--|---|--|
| 導 入 | 1 連想ゲームをし、 問題意識を持つ。 | ○ 連想することは何ですか。 ・割れる。 ・怒られる。 ・どうしようか悩んでいる。 | T2 発問 | ○ 楽しい雰囲気 で授業に入れるよ うにする。 ○ あまり深入り はしない。 |
| 展 開 | 2 資料を読み、主 人公の気持ちを一 考する。 | ○ 花びんをわってしまっ たとき、ただし君は、ど んな気持ちになっただ しょう。 ・大変なことをしてし まった。 ・だれかに見られたか なあ。 ・どうしよう。あやま ろうか ・ばれたらしかられ る。 ・だまっていれば分 からない。 ◎ 下を向いてじっと しているただし君は、 どんなことを考えて いたでしょう。 ・おこられるから、こ わしたなんて絶対 に言えない。 ・本当のことを言っ たらクラスみんなに 責められる。 ・先生もだれが壊し たか分からないとい やな気持ちが続くだ ろう。 ・おこられるかもしれ ないけど正直にあや まることが大切だ。 ・きつうまくごまか せても心がすっきり しない。正直に言っ たほうがこれから 気持ちよく生活でき るはずだ。 ○ 正直に話したた だし君は、どんな気 持ちになっただし ょう。 ・正直に話してよ かった。気持ちが すっきりとした。 ・これからも、ご まかさず、正直に 行動していこう。 | T1 発問 T2 板書 資料範読 T1 発問 机間指導 T2 板書 机間指導 反価値の 代弁者 T1 発問 T2 板書 | ○ 資料を分割し、 場面把握をしっ かりとさせる。 ○ 自分の体験に 振り返らせ、た だしの心の迷い に共感させる。 ○ ワークシート に書かせること により自分の意 見を明確にさせ る。 ☆ 理由を考えな がら、自分の意 見を持つことが できたか。 ○ ゆさぶり、切 り返し発問によ り、道徳的価値 が深まるように 考えさせる。 ☆ 正直に行動す ることの大切さ を感じることが できたか。 |
| | 3 自分の生活をふ り返る。 | ○ 正直にあやまっ てよかったと思 ったことがあります か。 ・墨をこぼした時、 正直に言って 気持ちがすっきり した。 | T1 板書 T2 発問 | ○ 自分の生活を ふり返らせるこ とにより価値の 一般化をはかる。 ☆ 正直に行動す |

| | | | | |
|----|-----------------|--|----------|----------------------------|
| | | | | ことで、心が晴れ晴れすることを感じることができたか。 |
| 終末 | 4 先生の話聞き価値を深める。 | ○ 最後に先生の経験を聞いてください。 ・おこられたけど、正直に行動をしてスッキリした話。 | T1 説話 | ○ 児童に身近に感じられるようにする。 |

われた花びん

○ 下を向いてじっとしていたただしくんは、どんなことを考えていたでしょう。

ただしの
悩む顔

9 板書計画

われた花びんの絵

決まらないシユート

驚いた
ただしの顔

パリン

○正直に言おう

下を向いてじっとしていたただしくんは、どんなことを考えていたでしょう。

・先生もいやな気持ちが続くだろう。
・正直に言ったほうが気持ちよく生活できる。

すっきりした気持ち

○正直に言えない

・そんな大切なものをこわしてしまって、叱られる。
・本当のことを言ったらクラスのみんなに責められる

悩む
ただしの顔

暗い気持ち

・大変なことをしてしまった。
・どうしよう。
・ばれたらしかられる。
・だまっていれば分からない。

明るい
ただしの顔

・正直に言ってよかったな。
・これからもごまかさず、正直に行動しよう。

いやな気持ち

資料分析「われた花びん」

花びんを割ってしまったことを正直に言い出せない主人公の気持ちの揺れを考えることにより、うそやごまかしをせず正直に行動することの良さを感じ、明るい心で生活しようとする心情を育てる。

